



大分川と大野川の堤防決壊による洪水のシミュレーション動画。氾濫流の進み方や浸水の範囲を確認できる＝2日、大分市の大分河川国道事務所



洪水シミュレーション動画

大分川と大野川の流域で2千年に1度クラスの雨が降り、過去の水害で決壊した大分市内の堤防が再び損傷して洪水が起きたらー。国土交通省大分河川国道事務所は堤防決壊シミュレーション動画を製作し、公開しています。

2021年6月4日付
大分合同新聞 23面

大分川、大野川の堤防決壊想定

国土交通省大分河川国道事務所（大分市）は、同市内の大分川と大野川で堤防が決壊して洪水が起きた場合のシミュレーション動画を製作した。2日から同事務所のホームページと、動画投稿サイト「YouTube」の九州地方整備局のページで公開している。

流域で2千年に1度クラスの雨が降り、過去の水害で決壊した堤防が再び損傷することを想定。時間の経過とともに、周辺が浸水する様子を確認できる。大分川は48時間で911ミリの降雨があり、賀来川と合流する賀来南の堤防が切れたと想定した。氾濫流は50分ほどで城南中学校に達し、10時間後にはJR大分駅まで到達。約2645



「YouTube」の九州地方整備局のページで公開している。

①シミュレーションの内容を、下の表にまとめましょう。空欄に入る数字や地名（地区名）を書いてください。

氾濫が浸水し、建物被害は4万9962棟が見込まれている。大野川は48時間で798ミリの流域に降り、大きく湾曲する大津留地区の堤防が切れた場合をシミュレーションした。大野川と乙津川に挟まれた輪中地帯が氾濫した水に襲われ、約4時間で乙津泊地までの948ミリの浸水。7057棟に被害が及ぶとされている。

同事務所調査第1課の小野富生課長は「ハザードマップと違い、動画は浸水の危険性を視覚的に理解しやすい。洪水の怖さを認識し、早めの避難につなげてほしい」と話す。

今後、堤防の別の場所が切れた場合もシミュレーションし、動画を追加することを検討している。

同事務所によると、大野川では1943年の台風26号、大分川は53年の西日本大水害以降、堤防が切れる洪水は発生していない。

河川名	48時間降水量	堤防決壊箇所	浸水面積	建物被害
大分川	911 ミリ	賀来南	2645 ㌥	49962 棟
大野川	798 ミリ	大津留地区	948 ㌥	7057 棟

②動画を製作した理由について、（ ）に入る言葉を書いてください。

「早めの（ 避難 ）につなげてほしい」

③このような大水害が起きた場合、あなたの住まいや、学校、通学路はどうなることが想定されますか。[堤防決壊シミュレーション動画](#)や市町村のハザードマップで確認しましょう（[大分市ハザードマップ](#)）。また、避難行動について、おうちの人や友だちと話し合みましょう。